株式会社　常磐

2024　年度（第 37 期）環境経営レポート

（対象期間 2024 年3月1日～　2025 年2月28日）

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

TOKIWA

エコアクション21

認証番号0012352

作成日：　2025年5月21日

目　　次

項　　目	ページ
ごあいさつ	3
環境経営方針	4
組織の概要	5
事業・製品の紹介	5
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	6
主な環境負荷の実績	7
環境経営目標及びその実績	7
環境経営計画の取組結果とその評価	8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無	10
緊急事態対応訓練	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	11

□ ごあいさつ

株式会社常磐は１９７０年４月の創業以来、建築工事一筋で５０年以上にわたって実績を積み皆様に夢を実現に変える会社として支えられていただいたことで信頼と実績を継続してまいりました。 皆様に喜ばれる会社として養ってきたノウハウと、市況や技術革新などの時代の流れを的確に把握し、新たなビジネスやこだわりへの御提案で、常にお客様の側に立ち様々なニーズにお応えできる営業を実践しております。当社の実績と豊富な経験を活かし新築・増築・改築でのトータルなサービスを御提供します。

□ 企業理念

みんなで面白い社会生活を過ごすために

１、私たちは　技術力と情熱をもって社会の発展に貢献します。

２、私たちは　強靭で豊かな経営体質を持った会社を作ります。

３、私たちは　お客様と地域社会から信頼される会社になります。

４、私たちは　感情豊かな人材育成と確かな専門知識の修得に努める会社になります。

□ 行動指針

私達は、失敗を恐れず行動し、仲間との絆を大切に成長する企業を目指します。

環境経営方針

＜環境経営理念＞

私たちは、「あてにし、あてにされる関係」の企業風土を基に行動し、本業である建築を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

安全で快適にご利用いただける建築物を、無駄のない工期・効率的な工法・高い技術力をもってお客様に提供することが当社の一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

＜環境保全への行動指針＞

１．環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

２．協力業者との協働により二酸化炭素排出量の削減に努めます。

３．廃棄物の発生抑制につとめ、建築資材リサイクルの向上に努めます。

４．適正な利用により水使用量の削減に努めます。

５．接着剤や塗装材など現場での適正管理に努めます。

６．工程管理を適正に行い、ミスやロスの少ない施工を行います。

７．あてにし、あてにされる信頼関係を行動指針により創っていきます。

８．地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

制定日：2017年9月30日
改定日：2020年7月16日

代表取締役社長　松本　隆宏

□組織の概要

更新日： 2025年5月21日

（1）名称及び代表者名
株式会社　常磐
代表取締役社長　松本　隆宏

（2）所在地
本　　社　　大阪府大東市新田西町６－５２
京都営業所　　京都市右京区西京極末広町6-1　ルミエール西京極１３２号　　2021年3月開設

（3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者　　京都営業所　　中島　毅　　TEL：080-6172-6874
担当者　　京都営業所　　中島　毅　　TEL：080-6172-6874

（4）事業内容
工場・倉庫・事務所ビルの新築・改築の設計・施工及び大型商業施設のメンテナンスと修理
建設業許可：大阪府知事　許可（般-4）第101939号　　建築工事業　大工工事業　屋根工事業
内装仕上工事業　鋼構造物工事業　タイルれんがブロック工事業　解体工事業
大阪府知事　許可（般-5）第101939号
とび・土工工事業　防水工事業　塗装工事業
産業廃棄物収集運搬業許可　：大阪府　02700210333号　兵庫県　02803210333号
滋賀県　02501210333号　京都府　02600210333号　奈良県　02900210333号
古物商許可：622280195733

（5）事業の規模
売上高　　194 百万円

	本　　社	京都営業所	合計
従業員　　名	9 名	1 名	10 名
敷地面積　㎡	270 ㎡	30 ㎡	300 ㎡

（6）事業年度　　3 月　1 日 ～　2 月　28 日

□認証・登録の対象組織・活動

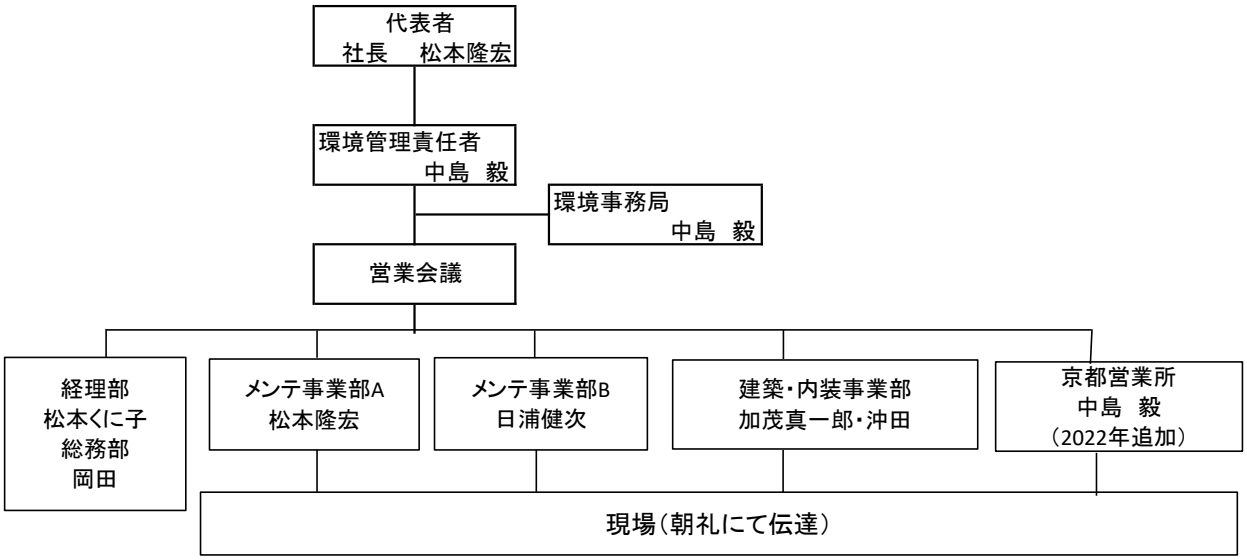
登録組織名：　　株式会社　常磐
対象事業所：　　本　　社
京都営業所（2022年追加）
活動：工場・倉庫・事務所ビルの新築・改築の設計・施工及び大型商業施設のメンテナンスと修理

□事業の紹介

〇オフィスビルやテナントビルのリノベーションをはじめ、消防設備、給排水設備、新築、増改築などの建築工事一式

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日： 2022年8月1日



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備
	・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定・見直し
	・環境経営目標・環境経営計画書を承認
	・代表者による全体の評価と見直し、指示
	・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・環境経営目標・環境経営計画書を確認
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、営業会議の事務局
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
	・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	・環境活動の実績集計
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
	・環境経営方針の周知
	・従業員に対する教育訓練の実施
	・環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	・手順書の作成及び手順書による実施
	・想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成
	・試行・訓練を実施、記録の作成
	・問題点の発見、是正、予防処置の実施
営業会議 （毎月20日頃）	・環境経営計画の審議
	・環境活動実績の確認・評価
	・現場では朝礼で伝達する。
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項　目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	18,989	20,074	21,750
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	240	240	240
産業廃棄物排出量	t	26.1	45.7	32.2
水使用量	m^3	90	50	70

※二酸化炭素排出係数　　0.318　kg-CO2/kWh　電力会社の調整後の係数
※負荷の実績は工事現場を含む（現場の水道水は客先水道につき計測できない）
※一般廃棄物は計測結果です。

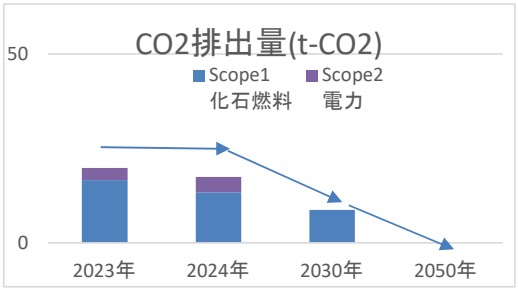
□環境経営目標及びその実績

項目＼年度		2023年	2024年		評価	2025年	2026年
		（基準値）	（目標）	（実績）		（目標）	（目標）
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	3,207	3,175	3,985	×	3,111	3,079
	基準年度比		99%	124%		97%	96%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	16,598	16,432	13,373	○	15,602	15,602
	基準年度比		99%	81%		94%	94%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	19,805	19,607	17,358	○	18,713	18,681
一般廃棄物の削減	kg	240	240	240	×	240	240
	基準年度比		100%	100%		100%	100%
産業廃棄物（混合）の削減（再資源化率向上）	%	ー	65%	16%	×	65%	65%
						0	0
水道水の削減	m^3	50	50	70	×	50	50
	基準年度比		100%	140%		100%	100%
環境に配慮した工事の推進	行動目標（次項による）						
地域貢献	行動目標（次項による）						
令和６年度行動指針 私達は、失敗を恐れず行動し、仲間との絆を大切に成長する企業を目指します。	行動目標（次項による）						

カーボンニュートラルに向けたわが社の取り組み

単位：t-CO2

	Scope1 化石燃	Scope2 電力	対　策
2023年	16.6	3.2	
2024年	13.4	4.0	省エネ+ハイブリッド車
2030年	8.7	0	省エネ+ハイブリッド自動車+再エネ電力
2050年	0	0	省エネ+太陽光発電+電気自動車+再エネ



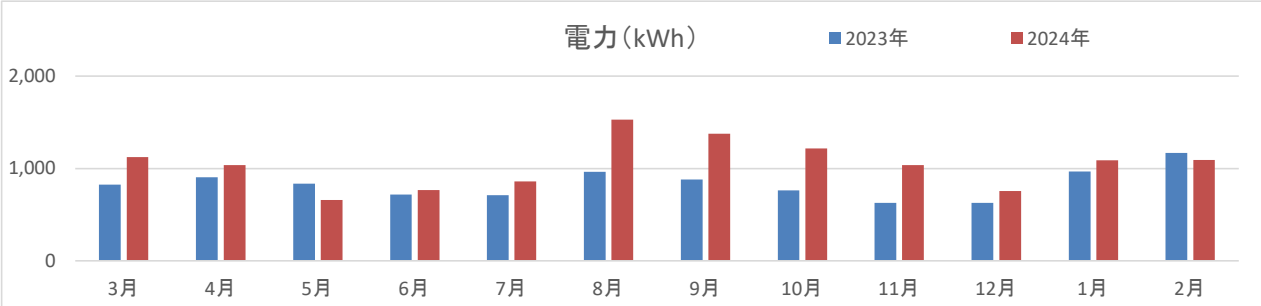
□環境経営計画の取組結果とその評価

トップ

数値目標:〇達成　×未達成

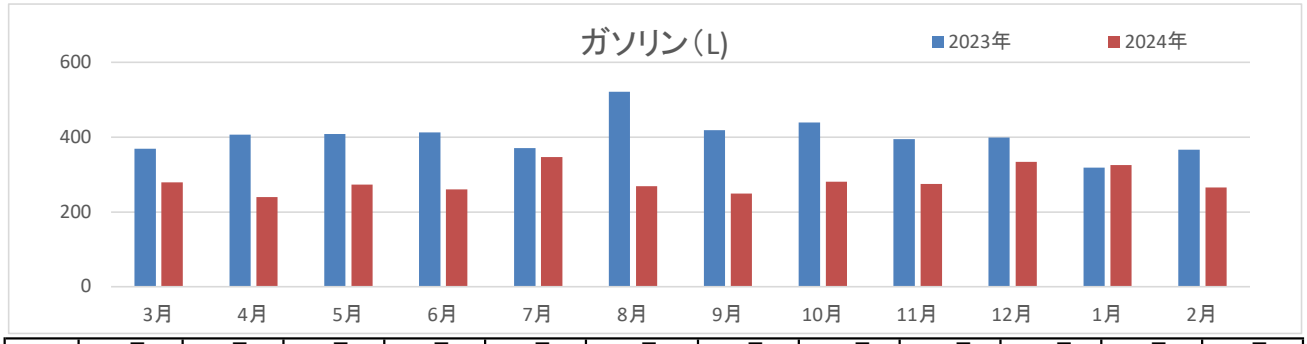
活動:◎よくできた　〇まあまあできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	×	異常気象ともいえる夏季から冬前にかけての気温上昇により、電気消費量が増えたと考えられる。健康に直接関係することでもあるので、一概に悪いことと言えないが、電気料金の値上げもあり不要な電気を使わないことを徹底していきたい。次年度は基準年を超えない目標として100%設定とする。
・空調温度の適正化(冷房26℃　暖房22℃)(事務所)	△	
・Co2低排出電力の検討を始める	〇	
・施工管理業務の効率化　技能向上	〇	
段取り徹底(現場)	△	

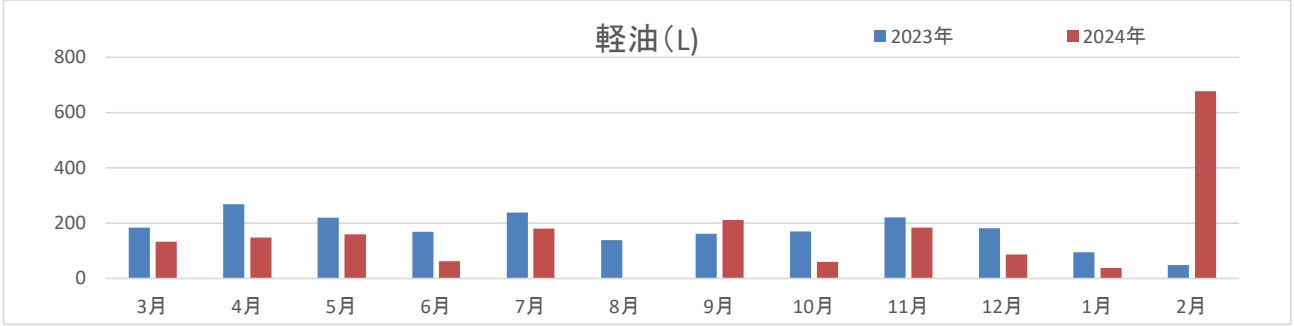


	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2023年	826	903	834	716	710	962	878	762	629	629	966	1,167
2024年	1,124	1,037	658	763	858	1,527	1,376	1,217	1,035	755	1,088	1,094

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	〇	比較的近くの現場が多かったのか、ガソリン・軽油の使用量は基準年に比べ節約できた所は評価できる。年度途中から軽トラックを1台増やし、少量の荷物の運搬に便利になり、燃料消費削減に繋がっていくと思われる。また、走行距離の多い車両が増えてきたので買い替え等の際は低燃費・低炭素の車両を検討する。今年度より車両別の燃費評価を始めました。基準年は今年度になりますが、ハイブリッド車や小型の車両を採用するメリットを感じて広げていければと考えています。事務担当者の協力の下、続けていきたいと考えています。次年度は80%を目標とする。
・漏れの無い記録	〇	
・アイドリングストップ（現場）	〇	
・営業ルートの効率化	〇	
・エリア別営業活動の見直し	〇	

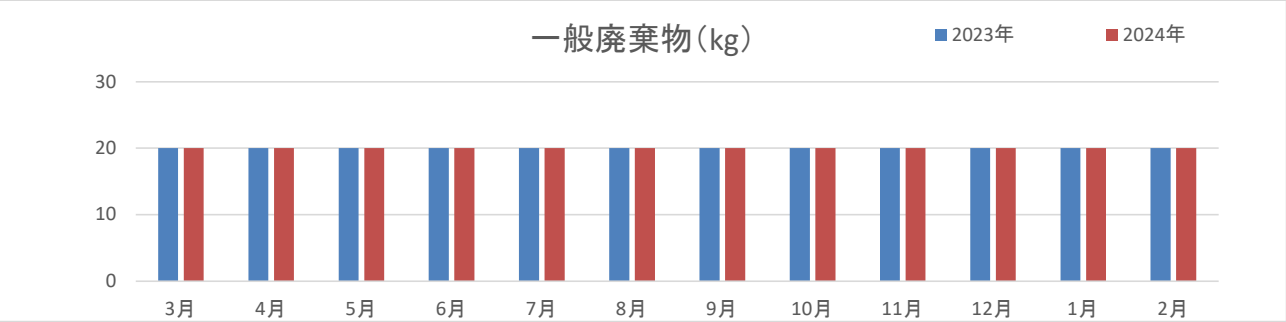


	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2023年	369	407	408	412	371	521	418	439	395	399	319	367
2024年	279	240	273	260	346	269	249	281	275	334	325	265



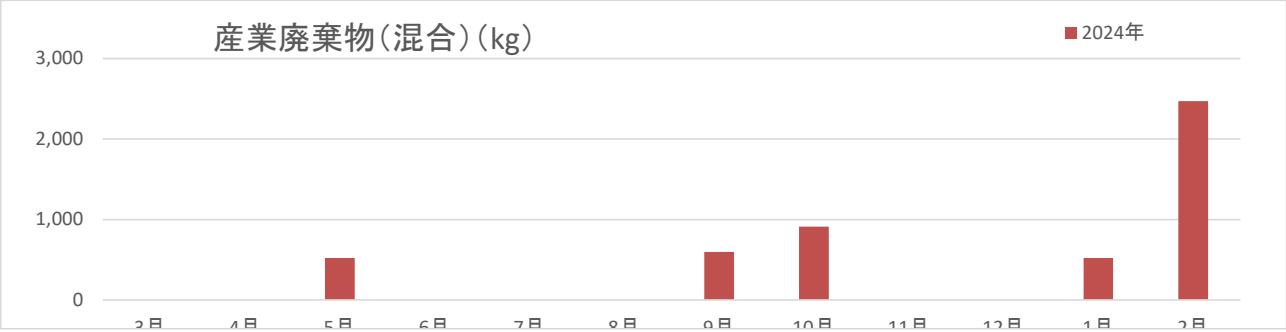
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2023年	183	268	219	169	238	138	162	171	221	182	95	49
2024年	133	148	159	63	180	0	212	59	184	86	37	677

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	×	一般廃棄物の量は安定していてしかも少量なので現状維持していく。
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	△	
・帳票見直しによる印刷物の削減（事務	×	帳票の見直しは、そもそも提出書類自体は少ない状態ではあるが、不要な印刷物は減らしていく。次年度も目標達成手段を継続する。



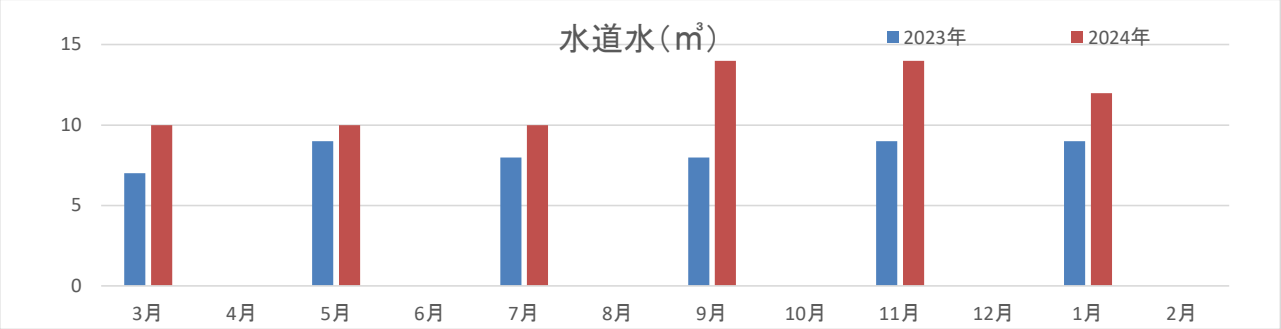
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2023年	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
2024年	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20

産業廃棄物（混合）の削減(再資源化率向上)	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	×	現場での分別や現場から直接中間処理業者へ運搬するなどの方法を検討していかないと、持ち帰りの量が多すぎる。処分する前に何かに転用出来ないか、一度検討する。再資源化率65%を目標としているが、16%となった。持ち帰り産廃の混合廃棄物が多くなっている。来期は電子マニュフェストを検討する。
・作業ミスによる廃棄量の削減（現場）	○	
・現場での分別徹底（現場）	△	
・持ち帰り廃棄物はマニュフェスト管理	○	



	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2024年	0	0	520	0	0	0	598	910	0	0	520	2,470

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	×	水道料金は最低料金内を保っているが、本社の水道使用量が増えている。原因を究明し改善したい。(漏水、メーターの老朽化)
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	△	
・ストップノズルの使用の徹底（現場）	○	
・水栓の閉め忘れが無いようにする。	○	



	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
2023年	7	0	9	0	8	0	8	0	9	0	9	0
2024年	10	0	10	0	10	0	14	0	14	0	12	0

化学物質管理	達成状況	取組結果とその評価
・少量シンナーの漏洩蒸発防止（事務所）	○	シンナー類の出入りは非常に少ない状態は続いている。現場での扱いに注意するため、使用材料の確認を徹底する。
・塗装防水工事のリスク管理（現場）	△	

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価
・工期厳守、短縮化（現場）	△	Co2を極力出さない建物の提案については、顧客の予算等によりなかなか難しい状況である。低炭素建材や工法の情報収集も活発に行ないたい。顧客要求範囲では順守できていた。それぞれの現場で担当者が工期厳守・作業ミスの防止・顧客クレーム削減に務めている。
・作業ミスの防止（現場）	△	
・顧客クレーム削減（振動、騒音、悪臭）	○	
・Co2を極力出さない建物の提案	○	

地域貢献	達成状況	取組結果とその評価
・大東キャンドルナイト	○	会長が同友会の役員を行なっていた関係で、大東市のイベントを手伝っている。ほぼ会長のみに任せきりなので、何らかの形で会社全体で地域と関わっていきたい。
・D-1グランプリ	○	

令和6年度行動指針 私達は、失敗を恐れず行動し、仲間との絆を大切に成長する企業を目指します。	達成状況	取組結果とその評価
・営業会議をチェック体制の基盤とし、意見・情報の交換と共有の場とする。	×	営業会議はなかなか全員がそろわず、内容も同じで意見交換も少ない。有意義な時間にするため、来期はEA21や法律等の情報交換の時間も増やしていく。苦情、工期厳守、顧客地域とのコミュニケーションのような当たり前を記録して、改善の要素を見つけるような会議としたい。
・環境関連法規の知識向上（情報の共有）	△	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(建設副産物、廃プラ、混合等)
建設リサイクル法	解体工事、建設副産物
フロン排出抑制法	業務用空調機
顧客要求事項	品質管理　構内分別徹底

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定:　火災の発生	
■実施日：　2025/1/7	■実施場所 研修会場
■参加者：　社長、会長、加茂、日浦、松本、中島、沖田、岡田	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練の確認
■評価：	手順書の変更の必要性 □ あり　☑ なし
新しいメンバーも加わったため、基本的なおさらいを行った。	
■実施状況の様子 	

緊急事態の想定:	
■実施日：　2025/1/10	■実施場所 大西製作所
■参加者：　沖田、松本、元山	■実施内容： ・通報訓練、消火活動訓練
■評価：	手順書の変更の必要性 □ あり　☑ なし
消火器の設置場所・数についても検討した。現場作業の作業性も考慮し、確認できた。	
■実施状況の様子	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2025年5月21日

【総括(評価と今後の環境経営について)】

令和7年度行動指針「私達は、安全・安心を第一に、顧客に満足を与える集団になります。」を具体化するために、苦情、工期厳守、顧客地域とのコミュニケーションのような当たり前を記録して、改善の要素となる会議にしたい。環境負荷については、電力使用量と水使用量が目標達成できていないことについては目標達成手段の強化など、次年度も継続して活動を行う。

環境経営方針	☑ 変更なし	□ 変更あり	
環境経営目標・計画	□ 変更なし	☑ 変更あり	令和7年度の経営指針を反映させる
実施体制	☑ 変更なし	□ 変更あり	